

OTOTEN2024 音の旬本舗福田屋イベント報告(2024.6.22)

1. はじめに

例年どおり OTOTEN 2024 が開催され、音源出版主催の音の旬本舗の福田屋出張イベントの配信を試聴しました。テーマは「仮想アース&電源ケーブル」です。

2. デモの概要

関連情報は以下に示します。出演は、福田雅光氏と土岐泰義氏（光城精工）です。

<https://www.jas-audio.or.jp/audiofair/>

<https://www.jas-audio.or.jp/audiofair/jas-event>

<https://www.live-extreme.net/ototen2024-g701>

<https://www.phileweb.com/news/audio/202406/17/25451.html>



6月22日（土曜日）

時間	主催	内容	出演
11:00 12:30	日本音楽スタジオ協会	日本プロ音楽録音賞 30年の歩み ～その時代に於ける音創りの変遷／受賞作品試聴～	ミキサーズラボ 内沼映二 ミキサーズラボ 金高和奏
14:00 15:30	音楽之友社	寺島靖国 書籍「JAZZ健康法入門」発刊記念 ジャズとオーディオと健康を語る	寺島靖国 音楽之友社 田中基裕
17:00 18:30	音元出版	旬の本舗“福田屋”出張イベント	オーディオ評論家 福田雅光 光城精工 土岐泰義

そもそも仮想アースに関心をもったきっかけは OTOTEN 2022 のこのイベントで、昨年も視聴しています。

研究室日誌 6月22日 (OTOTEN 2022)

研究室日誌 6月26日 (OTOTEN 2023)

今回のテーマは、「付属電源ケーブルからの脱却」と、「仮想アースの音質効果の実演デモ」ということです。

最初は、女性ボーカル CD を使った電源ケーブルの試聴で、パワーアンプの付属ケーブルに対し、1万円台→10万円台までの試聴対象ケーブル 6本の試聴が行われましたが、ケーブルによって音が変わることが聴き取れました。

仮想アースについては、光城精工土岐氏から仮想アースは Ground の強化であるという話があり、男性ボーカルの CD により、同社の Crstal E-G を SP のマイナス端子に接続する試聴が行われ、多くの参加者から効果についてコメントが得られていました。

SP のマイナス端子に接続する意味は、アンプまで繋がっているということですが、アースの持つ意味については技術者間でも解明できていないという話もありました。なお、Crstal E-G が、従来の Crstal E や Crstal E Jtune に比べて、どういった理屈でどのような改善がなされたかの説明が欲しかったと思います。

最後にヴィーナスレコードの SACD の断片的な試聴がありました。

今回のイベントでの電源ケーブルにしても、仮想アースにしても、福田氏によれば、試聴は単純な音の構成の音源が分かりやすいということでしたが、これには異論があり、ポリフォニー音楽とか、合唱まで加わった大編成もの、あるいは倍音の複雑な楽器で評価の方が効果的と考えています。

そういったテストの在り方については問題がありましたが、効果に判断については異存はなく、KORG の Live Extreme による配信プラットフォームの優秀なことは、よくわかりました。



以上